

## リハビリ専門職と関係機関・住民との 地域協働の推進

～「TomeRe:」への支援を通して～

東部保健福祉事務所登米地域事務所  
○成人・高齢班 技師 小泉善孝  
田代光美 佐藤千恵 藤山佳美  
仙南保健福祉事務所  
後藤博音

1

「TomeRe:」とは

登米の地元リハビリ専門職  
による自主活動グループ  
「登米リハビリテーション  
専門職健康づくり応援団」

の通称

2

## 取り組みの背景（制度）

平成27年度介護保険制度改正

- 活動参加に焦点を当てたりハビリテーション推進
- 地域リハビリテーション活動支援事業の位置付け
- 地域ケア会議や住民運営の通いの場等へのリハビリ専門職等の関与促進

地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律  
(平成29年6月2日公布)

- 保険者機能の抜本強化
- リハビリ専門職等と連携し効果的な介護予防を実施

3



## 登米市の現状

総人口 (平成29年3月31日現在)	80,476人
高齢者人口 (平成29年3月31日現在)	26,057人
高齢化率 (平成29年3月31日現在)	32.9%
平均寿命 (平成27年)	男性:80.69歳 女性:87.58歳
健康寿命 (平成27年)	男性:78.96歳 女性:83.94歳
二次予防事業候補者 (平成27年3月31日現在)	男性:26.5% 女性:40.2%

平成30年高齢者人口調査(県長寿社会政策課)、平成29年度版データから見たみやぎの健康、平成27年度登米市高齢者実態調査報告書より

4

## 登米市地域包括ケアの取り組み



5

## 登米市の取り組み

- **和話輪リーダー**  
(登米市, 登米市社協) 介護予防ボランティア
- **元気応援コンシェルジュ**  
(登米市) 介護予防スペシャルリーダー
- **ミニデイサービス**  
(登米市社協) 地域住民(高齢者)の集いの場
- **地域ネットワーク構築会議**  
(地域包括支援センター) 専門職と地域住民の情報交換の場

6

## 登米管内の地域リハビリの課題

- ① リハビリ専門職間、関係機関との情報共有  
⇒ 『不十分』
- ② リハビリ専門職の自主的な活動  
⇒ 『ほとんどない』
- ③ 関係機関や住民  
⇒ 『リハビリ専門職って?』
- ④ リハビリテーションの視点  
⇒ 『活かされていない』

7

## 課題解決の方向性

- 【その1】  
リハビリ専門職の自主活動グループが立ち上がり、**関係機関、住民と協働**できる地域の実現(課題①②)
- 【その2】  
**関係機関が地元のリハビリ専門職の自主活動グループを活用**できる地域の実現(課題①③)
- 【その3】  
関係機関、住民が**専門的見地からの効果的な介護予防、健康づくりの手段**を学び、**主体的に活動**できる地域の実現(課題①③④)

8



(4) 「TomeRe:」活動支援・PR

- 登米市（長寿介護課）より年間を通じた協働依頼
- 『とめ元気ぶらす体操』（DVD）開発
- ミニデイサービスでの『とめ元気ぶらす体操』，体力測定実施への対応
- 「TomeRe:」の活動紹介

**登米市新規事業企画からのコラボレーション**

集いの場づくり介護予防事業（18回）



(4) TomeRe: 活動支援・PR

参加者：

- ワンポイント介護予防体操の依頼
- 肩こりや腰痛などについて専門の見地から解説
- 肩こり，腰痛予防体操の紹介
- 「TomeRe:」の活動紹介

**登米市地域包括支援センターとのコラボレーション**

ワンポイント介護予防体操

当所の役割



成果・考察

- リハビリ専門職同士，関係機関との顔の見える関係
- 「TomeRe:」活動開始
- 関係機関・住民との協働による活動
- 関係機関・住民の効果的な介護予防・健康づくりへ

今後の展望

管内リハビリ専門職の「TomeRe:」への参加拡大  
「TomeRe:」地域活動の体制づくり

リハビリ専門職のスムーズな地域参画・地域貢献へ  
関係機関・住民の効果的な介護予防・健康づくりへ